



新城 哲 議員

施政方針から地域福祉の推進について

質 地域福祉の推進において、特に重点を置いている施策は何か伺う。

答 福祉課長（石川司）

「子育て環境一帯がい者の自立・社会参加」「高齢者の介護・認知症予防」に重点を置き、事業展開している状況です。これらの重点施策を行うには「人材確保」が大前提です。現在、職員等の専門分野の研修の受講を推進し、「人材育成」を行っているところです。

質 介護サービスの充実に向けた取り組みや介護人材の確保はどのようになっているか伺う。

答 福祉課長（石川司）

基本的に身体介護や生活援助を中心にサービス提供が行われている現状です。訪問介護サービス事業がヘルパー

不足で余儀なく閉鎖という事態が生じている次第です。今後は利用者への影響を最小限に抑えるため、近隣の市町村の事業所への引継ぎ作業を村社協で行っています。また、介護人材の確保においては、ヘルパーの高齢化や新規登録ヘルパーが不在であることから今後は、若い世代への介護資格支援等を行うことで将来の介護職の充実が図れないか検討する必要があると考えられます。

提 地域の福祉の向上のためには各関係機関の連携が必要不可欠です。ぜひ社会福祉協議会をはじめとした関係機関との連携を深め、支援体制の強化に取り組んでいただきたい。高齢者、障がい者、子供、生活困窮者など支援を必要とする人々、村民が地域の中で安心して暮らせるよう引き続き取り組みをお願いします。

施政方針から農業の振興について

質 物価高騰により、肥料・飼料・燃料・農業資材の価格が上昇しています。農家への負担軽減策はあるのか伺う。

答 農林水産課長（平安名盛常）
農業資材等に対する補助率は、一部、令和4年度から暫定的に5%から10%上乗せし引き上げており、令和7年度も前年度と同様の補助率を維持する予定となっています。

施政方針から観光業の振興について

質 オーバーツーリズムによる具体的な環境負担として、どのような課題を認識しているのか伺う。

答 商工観光課長（親泊誠）

オーバーツーリズムによる具体的な環境負担としては、様々な課題があるというふうに認識しておりますが、ここでは特に2つの課題として、まず1つ目は、特定の海域に多くの観光客が入域することによる自然環境への過重な負荷。もう1つは、入域に伴う交通渋滞や不適切な場所での無断駐車など、マナー意識の不足による住環境への過重な負担などと認識しています。



う。スクールバスの活用について、地域の住民へ活用できないか検討していきたいと回答がありました。

質 賃貸契約書案で施設は無償譲与となっております。理由とメリットを伺う。

答 企画課長（喜久山隆）

高等学校として開設する予定もあるという点で建物は移転したい。メリットは、修繕改修等は体験学園さんで行います。

質 今後の取り組みを伺う。

答 企画課長（喜久山隆）

令和7年度中で修繕等、令和8年4月1日に開校を目指しています。工事が進んでいくところは慎重に住民の方々とも情報を共有しながら説明会を開いていきたいと考えています。

バス系統77番線の減便、ルート短縮について

質 令和7年1月に沖縄バスよりバス系統77番線、運行計画の変更が発表されたことについて当局はどのように認識をし村民への影響についてどう考えているか伺う。

施政方針から雇用の促進について

質 支援の対象となる資格は具体的にどのようなものを想定しているのか伺う。

答 商工観光課長（親泊誠）

今回創設を予定している支援事業ですが、事業名を若者就業支援プログラム給付金支給事業として、沖縄産業開発青年協会への入隊費等の支援となっています。若者の就業の機会を拡大及び創出するために、経済的に困窮する若者に対し、就業する際に有利となる資格取得に要する費用を支給し、失業率の改善を図ることを目的としております。主な取得資格としましては、車両系建設機械運転技能、ガス溶接技能などがあり、最大で12種の資格となっています。

提 地域経済の活性化や生活の安定、企業を支えるためにも、働きたい人が安定して仕事に就ける有効な資格の取得をするためにも支援が必要で、支援内容が分かるよう情報の周知が必要です。村内各區へ情報発信をお願いします。

答 総務課長（宮平寛）

本路線は運転手不足により令和7年1月19日よりルートの変更、減便がされ最終便の運行時間が早まっています。利用者の交通手段確保のため県は期間限定で上下線各1便の臨時無料バスを運行している状況です。村の影響としては喜瀬武原区長さんから本路線を利用する村民に影響が出ていると伺っています。

質 高校通学への影響についてどのような考えか伺う。

答 総務課長（宮平寛）

臨時の無料バスも春休み以降の運行について決定されていない状況で次年度の影響を危惧しています。

質 当バスを利用している村民、学生がいます。関係する市町村として要請に関わってほしいと思いますが、村長の考えを伺う。

答 村長（長浜善巳）

我々も今後関係市町村の動向を注視して、適切な対応を行いたいと考えています。



県道104号線、及び村道沿いの危険木について

質 県道・村道の安全点検、頻度、対応、現存の危険箇所を伺う。

答 建設課長（當山 国博）

村道の維持管理は不定期ですが巡回し、目視点検を行っています。国道や県道は所管の道路管理者へ報告しています。



山田 政幸 議員

質 県道104号線を通行する大型ダンプが通行帯にはみ出した木の枝を避けようとして対向車線に進入する現場を目撃した方から、危険を感じ役場に連絡を入れたという話がありました。どう対応したのか伺う。

答 農林水産課長（平安名盛常）

指摘を受けて北部土木事務所に対して何度か早めの対応をお願いしましたが、年度内での対応は厳しいとい

う報告を受けました。松くい虫被害等による枯木の処理は次年度で対応する予定。道路の交通に支障を来す樹木の剪定に関しては北部土木管内で同様な要望が多くあり現在早期に対応できるように予算確保に向けて調整中とのことです。

答 建設課長（當山 国博）

県道の交通に障害がある木は県に要望しています。村道の危険木は道路維持管理費や被害木伐採費を活用して伐採処理を行っています。

質 村長（長浜善巳）

喜瀬武原の104号線は危ないなと感じています。県に要望しているが、危険である場合は我々でできることはやっていきたいと思っています。

喜瀬武原小中学校跡地利用計画について

質 住民説明会を開催していますが、参加人数、実施回数、どんな質問があったのか伺う。

答 企画課長（喜久山隆）

参加人数30名、住民説明会は1回行っています。様々な質問があり質問に対しては、将来的に寮を造ってきたい。寮ができる間はスクールバスでの送迎を行